

入院診療計画書 (腹式腫瘍切除術を受けられる方へ)

ID番号
病名 (他に考える病名)

@PATIENTID
氏名
症状

@PATIENTNAME
様

@PATIENTWARD
病棟

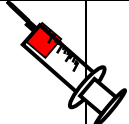
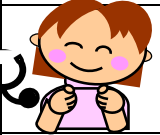
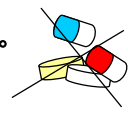
@PATIENTROOM
号室

担当医師
@USERNAME

担当看護師

担当薬剤師

その他担当者名
@SYSDATE

月日	月日	月日	月日	月日～月日	月日～月日	月日～月日	月日～		
経過	手術前日 	手術当日 手術前 手術後		手術後1日目	手術後2～3日目	手術後4～6日目	手術後7日目	手術後8日目～	
目標	手術の準備ができる。	<手術にいくまでの流れ> □麻酔科医師の指示の内服があれば服用します。 □パンツ以外の下着を脱いで病衣に着替えてください。 □化粧やマニキュアを落としてください。 □血栓予防のストッキングを着用します。 □義歯、眼鏡、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 □貴重品を家族の方に渡してください。 □髪の毛の長い方はヘアゴムで束ねましょう。		痛みがあれば、スタッフに伝えることができる	体調に合わせて動くことができる	身の回りのことが少しずつできる			
検査	診察、超音波検査があります。 	手術後採血があります。		採血があります。 		□手術後6日の朝に採血があります。		□退院診察、超音波検査を行います。	
処置	禁煙を続けてください □入浴します。 □点滴をとります。 □医師がタ方頃手術の術式を最終確認し、腹部にマキツグをします。 □手術準備品の確認をします。 □19時頃に下剤を内服します。 □血栓予防のストッキングのサイズを合わせます。 	□手術室から膀胱留置カテーテルを入れたまま戻ります。 □翌日朝まで酸素吸入を行います。 □背中から痛み止めの管が入ってきます。 □血栓予防のためのマッサージ機を足に装着します。 		□朝6時に酸素吸入を終了します。	□医師が創部の確認をします。	□歩行が可能になったら膀胱留置カテーテルを抜去します。	□背中からの痛み止めの管は術後2日目の夜19時に抜きます。	□医師が創部の確認をします。	□手術後7日目に処置した場合、創部の確認を行います。
観察	検温、検脈、血圧測定を行います。	朝6時頃に検温、検脈、血圧測定を行います。	手術後は随時検温、検脈、血圧測定と創部や腔からの出血がないか確認します。	適宜検温、検脈、血圧測定を行い、傷や腔からの出血がないかを見ます。また痛みや吐き気、排ガスの有無などを確認します。痛みや吐き気などの症状があるときは我慢せず看護師に言ってください。					
注射	午前中に点滴をします。 		手術室から点滴をしたまま病室へ戻ります。手術後、抗生剤の点滴をします。	□朝と夜に抗生剤の点滴があります。	□夜21時～血栓予防の注射をします。(術後5日目の朝まで夜21時・朝9時と1日2回注射を行います。)	手術後4日目まで点滴があります。(状態に応じて、点滴が追加になる場合があります。)			
内服	普段内服している薬はいつも通り内服してください。 ※内服しているお薬は、入院時に看護師に提出してください。 	医師の許可があるまで薬は中止になります。 		水分開始後から痛み止めの内服が始まります。持参薬がある方は医師の許可後に内服開始となります。				□次回受診まで必要な分の薬が処方されます。	
食事	朝から何も食べられません 食事に関するアレルギーなどがあれば相談してください。 夕食後にアクアファンが出ます。	 水分は()時以降はとらないでください。 		医師の指示により水分、食事が開始になります。開始後はむせりや吐き気がないか確認しながら摂取してください。 			初めて歩行するときは、看護師が付き添います。術後早期に歩いた方が、回復もはやくなりますよ！！ 		
行動	活動、入浴に制限はありません。 	時分頃手術室へ移動します。 	手術後は病室へ戻ります。帰室後はベッド上で動くことが可能です。 ※傷が痛い時や気分が悪い時は我慢せずに看護師に教えてください。お薬を使います。	午前中に着替えと清拭をします。 立ちましょう  足踏みしましょう 歩きましょう	シャワーの許可ができるまではタオルで体を拭きます。 どんどん歩きましょう。 	職場復帰、旅行などは医師に相談してください。 			
説明	□医師より手術についての説明があります。(手術同意書の提出をお願いします。)	<ご家族の方へ> 病棟内でお待ちください。 病棟から離れるときは待機場所を看護師にお知らせください。		<ご家族の方へ> 手術後医師より手術結果について説明があります。看護師より手術後の処置や安静度について説明があります。			創の保護について看護師より説明があります。		